

2017年9月

歴史 — No. 15

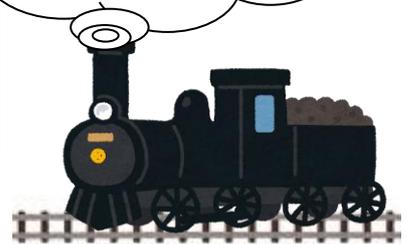
けんぱくものしりシート

めいじじだい もりおかえき

明治時代の盛岡駅



ぼくは蒸気機関車！
S Lともよばれるよ。



※蒸気機関車

…石炭を燃やしてお湯を
わかし、その蒸気の力で
車輪を回転させ動く汽車。

明治時代の盛岡駅舎ジオラマには、今ではめずらしい蒸気機関車がとまっています。日本で最初に鉄道が開通したのは1872（明治5）年のこと。その後1890（明治23）年に、岩手の盛岡から東京の上野までの鉄道が通りました。



当時は「鉄道が通ると火事になる」「どろぼうや悪い病気が入ってくる」などと言って、鉄道の開通に反対する人々もいました。しかし盛岡駅開業式の日、当時岩手ではめずらしくお殿様ほどの人さえめったにめし上がれなかったサツマイモや、一関駅までのきっぷ100枚がばらまかれると、人々は「鉄道とはたいしたものだ！」とおどろきました。

Ticket きっぷ ￥

きっぷは盛岡—上野間で3円28銭でした。当時はアンパン1個5厘、お米10kgが67銭、盛岡駅の駅員さんのお給料が月7円50銭でしたので、なかなか乗れるものではありませんでした。（※1円=100銭=1,000厘）



移動時間



1890 (明治23) 年の開通当時は盛岡・上野間は直通列車がなかったため、仙台に1泊して乗りつぎました。翌年には直通列車が走り、たった1日で移動できるようになりました。

今は電気で動く新幹線で約3~4時間もあれば移動できる時代のため、とても不便と感じるかもしれません。しかし、それまでは徒歩や馬車・船などで約1週間~10日がかかりで旅をしていたのです。

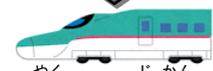
鉄道の開通により人や物の移動もとても増え、東京などからの新しい文化もどんどん早く伝わるようになりました。そして次第に岩手も近代化・生活様式の西洋化が進んでいったのです。



【1週間~10日】



【1~2日】



【約3~4時間】

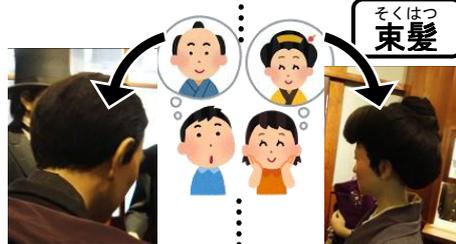
文明開化



当時、明治の新政府は日本の近代化を進めるため西洋文化を積極的に取り入れました。このような動きを文明開化と言い、その生活様式の変化はどれも和洋折衷 (日本風と西洋風をほどよくとりまぜること) だったことが共通しています。盛岡駅舎ジオラマの中をのぞいてみましょう。鉄道の開通などによる新しい文化の訪れがいたるところで見られます。

ざんぎり頭

「ちょんまげ」を切り落とし、西洋風に短く切った髪。



束髪

明治時代に流行した西洋風の髪型。日本髪より結うのが簡単でお金もかからず、洗いやすくなりました。

洋服の人

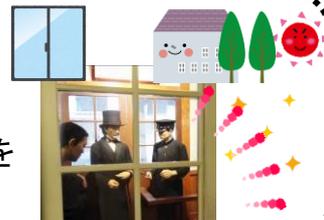


洋服を着てぼうしをかぶり、くつをはく人がふえました。



ガラス

ガラスの広まりは日本家屋に明るさをもたらしました。



参考 『よくわかる盛岡市の歴史』 東京書籍 2016年

『いわて鉄道物語 鉄道馬車から新幹線まで』 日刊岩手建設工業新聞社 2007年 他

来月 (10月) の
けんぱくものしりシートは
民俗-15だよ!
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷 34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>